

Blue Dot

取扱い説明書



目 次

・安全上の注意	2
・主な仕様	5
・付属品	6
・各部の名称(F22)	7
・各部の名称(EF20M)	8
・原料の補充	9
・開店前の準備手順(マシンの立ち上げ)	10
・メニューの抽出	10
・日中のオペレーション 補充	11
・日中のオペレーション 廃棄	12
・毎日のお手入れ クリーニングモード使用したマシン清掃	13
・毎日のお手入れ オールインワンクリーン (F22)	14
・毎日のお手入れ オールインワンクリーン (EF20M)	16
・毎日のお手入れ ミルカークリーニングの単独操作 (EF20Mのみ)	18
・毎日のお手入れ その他の清掃 (F22、EF20M共通)	19
・週一のお手入れ 豆ホッパーの清掃方法	19
・週一のお手入れ ミキサーボディー分解清掃	20
・週一のお手入れ パウダーキャニスター取り外しと清掃方法	22
・週一のお手入れ ミルカー分解清掃	23
・週一のお手入れ エスプレッソ抽出ユニット清掃方法	26
・週一のお手入れ フレッシュブリュー抽出ユニット清掃方法	30
・マシンの電源OFF	34
・アラーム表示	35
・トラブルシューティング	37
・保証とアフターサービスについて	39
・コーヒーマシン 保証書	40

安全上のご注意

(安全に関する重要事項です必ずお読みください)

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

表示されているマークの説明



警告

この表示は、誤った取扱いすると、人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があること示しています。



注意

この表示は、誤った取扱いすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること示しています。

全般的な注意事項



警告

- 製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないでください。修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。(但し、取扱説明書に記載されている清掃や調整は、手順に従って行えば安全です。)
 - 本体を改造しないでください。感電や火災の原因となります。
 - 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて、すぐに販売店もしくは、サービスセンターに連絡をしてください。
(電源スイッチを切る時や電源プラグを抜く時は、感電や火傷に注意してください。)
 - 本体の内部にある部品や電気配線、配管などには手や体を接触させないでください。火傷や感電の原因となります。
 - この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
 - 本体に水がかかったり、付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
 - 製品を移動する場合には、電源プラグが抜かれていること、本体内部に水やパウダー等が無く、十分に冷えていることを確認して行なってください。火傷や感電の原因となります。
- ・電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。
- 製品の点検やお手入れをする時には、取扱説明書に従い、主電源を切り、電源プラグを抜いて行なってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源プラグをコンセントへ抜き差しする時には、電源プラグや電源コードの取扱いに十分に注意をしてください。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。感電や火災や怪我の原因となります。
- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。また、本体内部の水やパウダー等を全て取り出し、洗浄を行ってください。

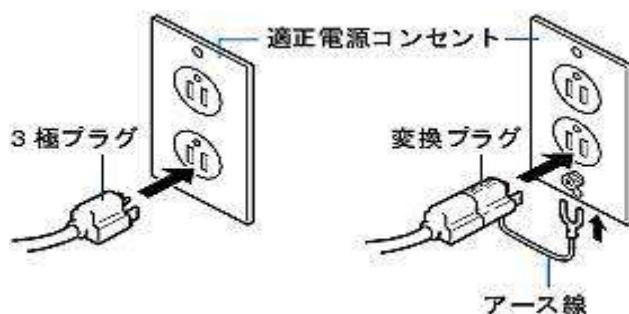
- 表面が熱くなっている部分には触れないでください。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないでください。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払ってください。
- 部品の取付、取外しまたは清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なってください。
- コードやプラグが傷んでいたり正常に動かない時には作動をさせないでください。
- 付属品以外のものを使用しないでください。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないでください。
- 電源コードが卓上、カウンター上または表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにしてください。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオープンの上やそばに置かないでください。
- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んでください。
- マシンの電源スイッチをOFFにしてから電源コンセントからプラグを取り外してください。
- 本来の目的以外には使用はしないでください。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をしてください。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは業務用のマシンです。

設置及び据付時の注意事項

本製品は、使用及び保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所または訓練を受けた要員が監視できる場所に据付してください。



- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量の確認を行う等、設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外は絶対に行なわないでください。
- 据付を行なう時には、本体の電源コードを損傷させたり、無理な配線をしたりしないようにしてください。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのものをお使いください。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。
- 漏電遮断機の設置をお願いします。



注意

- 設置及び据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないでください。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合、日常の作業やマシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚したり変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護を行なってください。
- 設置周辺温度は5～30℃になる場所で、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから15cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- 水道に直結する場合には0.5メガパスカル(MPa)以下の圧力であることを確認してください。高い場合には減圧弁を使用してください。
- 使用する際は、浄水器の設置をお奨めします。硬度の高い環境でご使用の場合は、軟水装置を取り付けることをお奨めします。
- 純水や純度の高い水を使用しないでください。水位センサーが水位の検出ができず、漏水の原因になります。

操作を行なう時の注意事項

注意

- 初めて使用する時、数か月以上使用しなかった後は、キャニスター等の食品に触れる部品は洗浄してください。
- 抽出操作を行なう前に、ノズルの位置に注意し、カップを置いてください。また、高さの低いカップの場合は、カップ置台を用意してください。抽出中は、パウダーマシンから十分離れてください。抽出液や熱湯の飛沫により火傷の原因になります。
- パウダーマシンの作動中、パウダー用キャニスターの中に手を入れしないでください。怪我の原因になります。
- 抽出ライン(ミキサー等)の洗浄は規定どおりに実施してください。洗浄を行わず放置しておく、系統内に残った抽出液等に細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。
- パウダー用キャニスターは定期的に内部をよく清掃してください。放置しておく雑菌が繁殖することがあります。
- パウダー用キャニスター内にパウダーが入っている状態でパウダー用キャニスターを取り外す時には、手順に従って取り外してください。無理矢理外そうとしますとパウダー用キャニスターが破損します。
- 前面パネルのクリア一部分(アクリル製)にアルコール類を使用すると破損します。使用はしないでください。
- 外した部品は乾燥機や食器洗浄機に入れると破損します。使用はしないでください。

使用時とメンテナンス時の注意点

- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なってください。メンテナンス及び安全性の確認は操作内容を十分に理解して行なってください。
- 水の供給をしない状態でマシンを使用しないでください。故障の原因となります。
- 0度以下になる室内に水系統から水抜きをしないままマシンを放置しないでください。凍結により故障の原因となります。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないでください。

主な仕様

マシンタイプ	F 22	EF 20 M
幅	368mm	
高さ	585 mm	
奥行き	550mm	
重量[満水時]	30kg	32kg
コーヒー豆ホッパー容量	500g	500g
コーヒー豆ホッパー	2	2
抽出ユニット	フレッシュブリュ-(1)	フレッシュブリュ-(1)、エスプレッソ(1)
グラインダー	2	2
パウダー用 キャニスター容量 ※パウダー粒度によって重量 に差があります	約500g×2 (計 約1000g)	—
パウダー用キャニスター	2	—
ミキサー	2	—
メニュー数	1画面表示 6メニュー×4画面 (最大24メニュー)	1画面表示 6メニュー×4画面 (最大24メニュー)
排水トレイ容量	1000cc	
給水タンク容量	4L(残り約700mlでアラーム表示)	—
コーヒーカス箱容量	約30杯	エスプレッソ 約20杯 / フレッシュ約30杯
ボイラー容量	0.6L	0.6L
ポンプ	内蔵式 ポンプ(バイブレーション式)	
電気容量/電流(W/A)	1250 W / 12.5A	
使用電源	100V 50 / 60 Hz	
電源コード	約1.8m	
水道圧 ※直結式の場合	0.1~0.5メガパスカル(MPa)	
給水接続方法 ※直結式の場合	15A バルブ止め	
水硬度	50以下(ppm)	
使用温度・保管温度	5 - 30 ° C	
使用湿度	80% 以下	

(注)凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を抜いてください。

(注)お湯ではなく必ず水を給水してください。

(注)水以外の飲料(例えばミルクなど)やミネラルウォーター類、純水や硬度の高い水は使用しないでください。

※取扱説明書内で使用されている画像は一部色が違う物を使用しています。

付属品

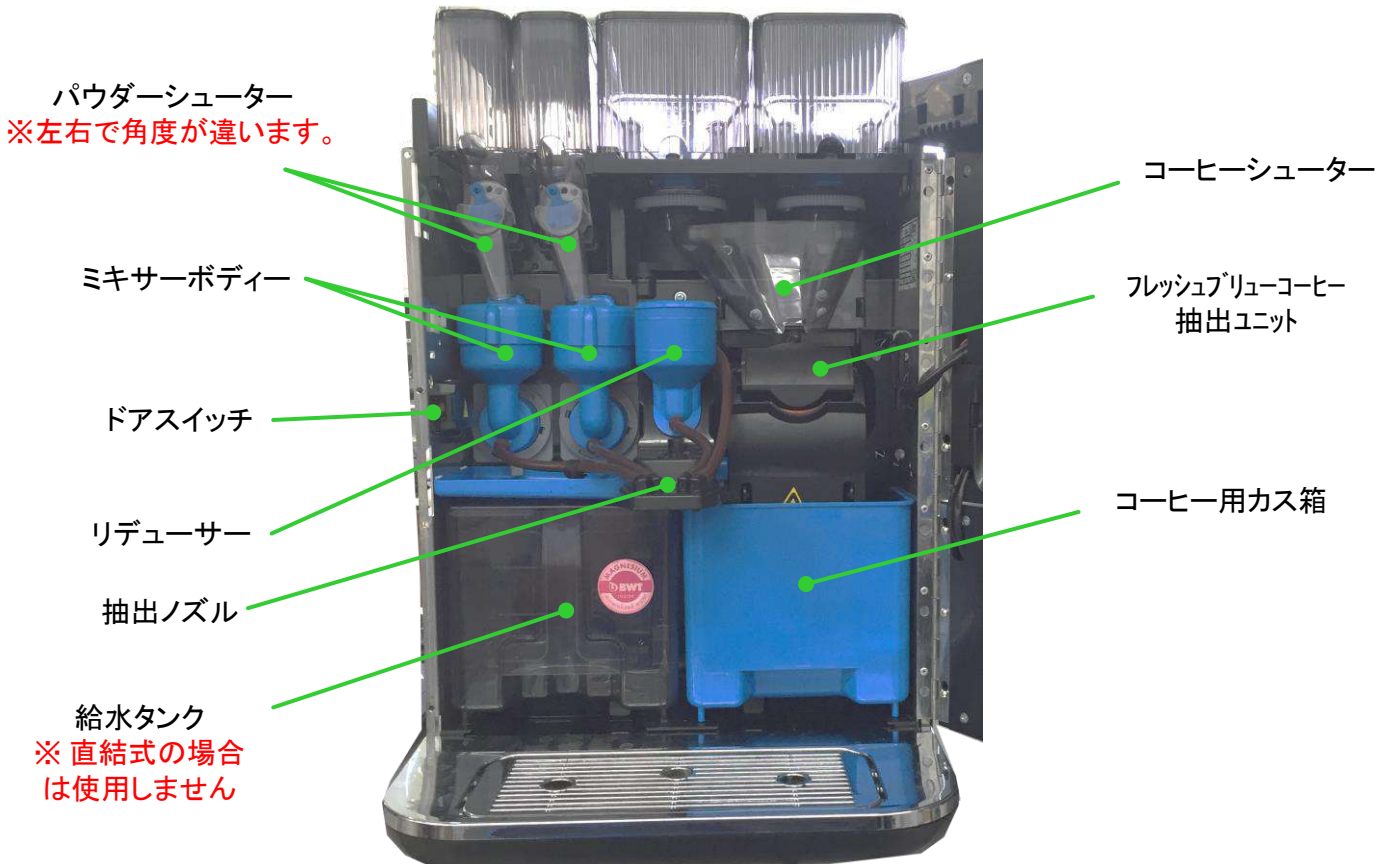
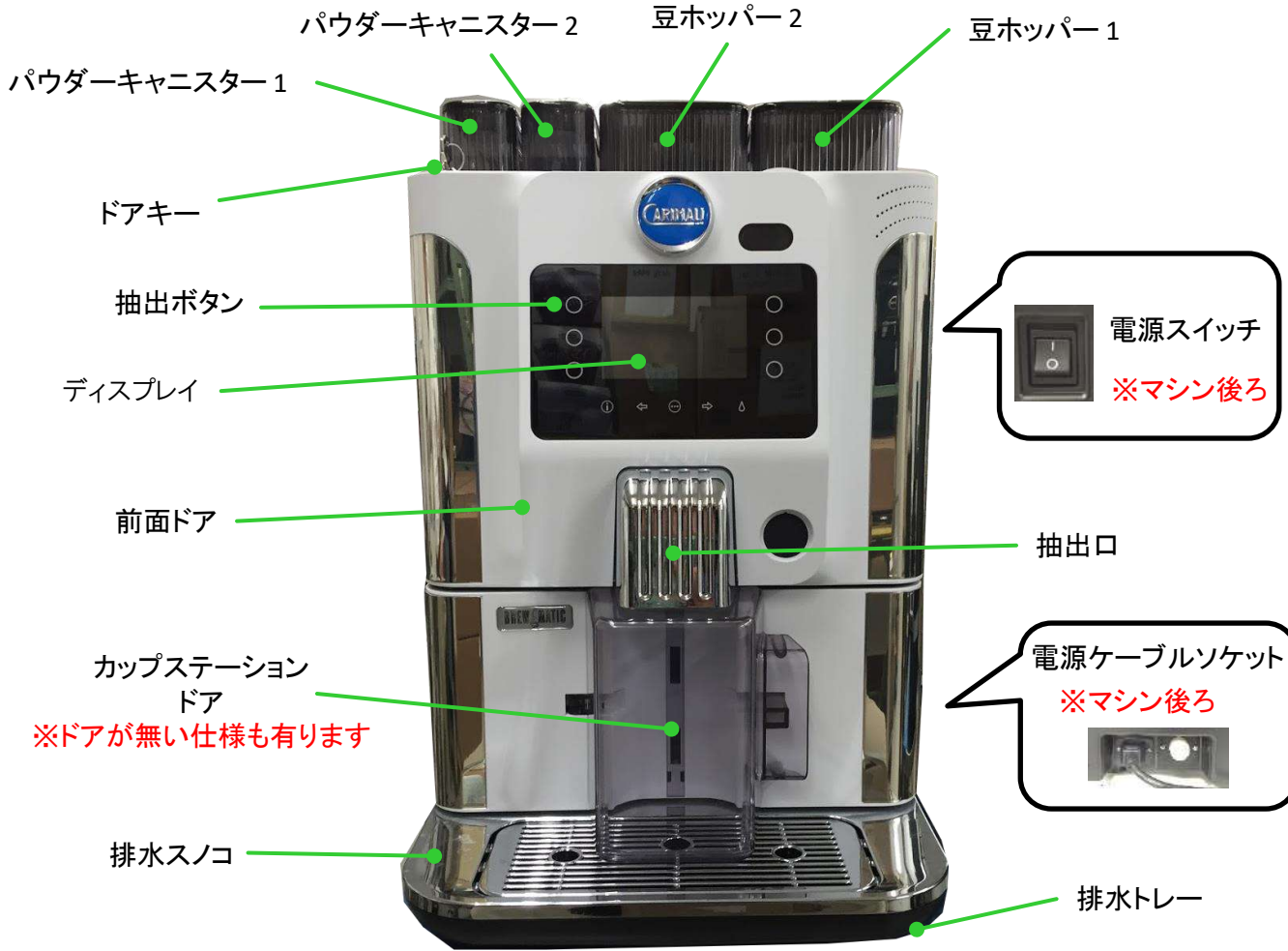
F22	EF20M
清掃用ハケ	清掃用ハケ
清掃用ブラシセット	清掃用ブラシセット
コーヒーマシンクリーナー (サンプル20錠)	コーヒーマシンクリーナー (サンプル20錠)
ミルクチューブクリーナー (サンプル250ml)	ミルクチューブクリーナー (サンプル250ml)
排水受け容器	ミルカーOリング(大×1)
	ミルカーOリング(小×4)
	ミルク洗浄用ポット
	排水受け容器

ご用意して頂く物

コーヒーマシンクリーナー (製品版 100錠)	ミルクチューブクリーナー (製品版 1L)
アルコール除菌剤	ペーパータオル

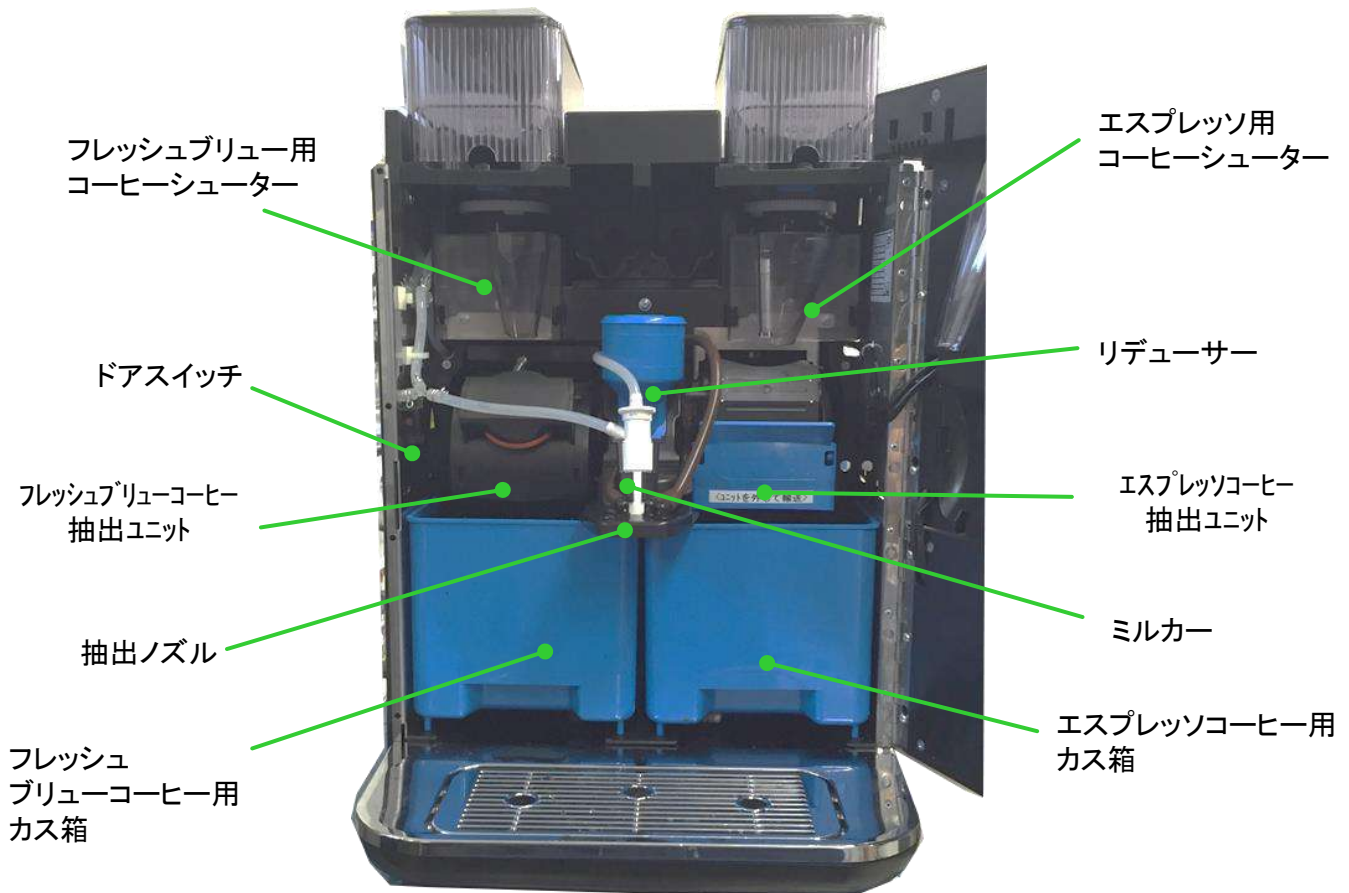
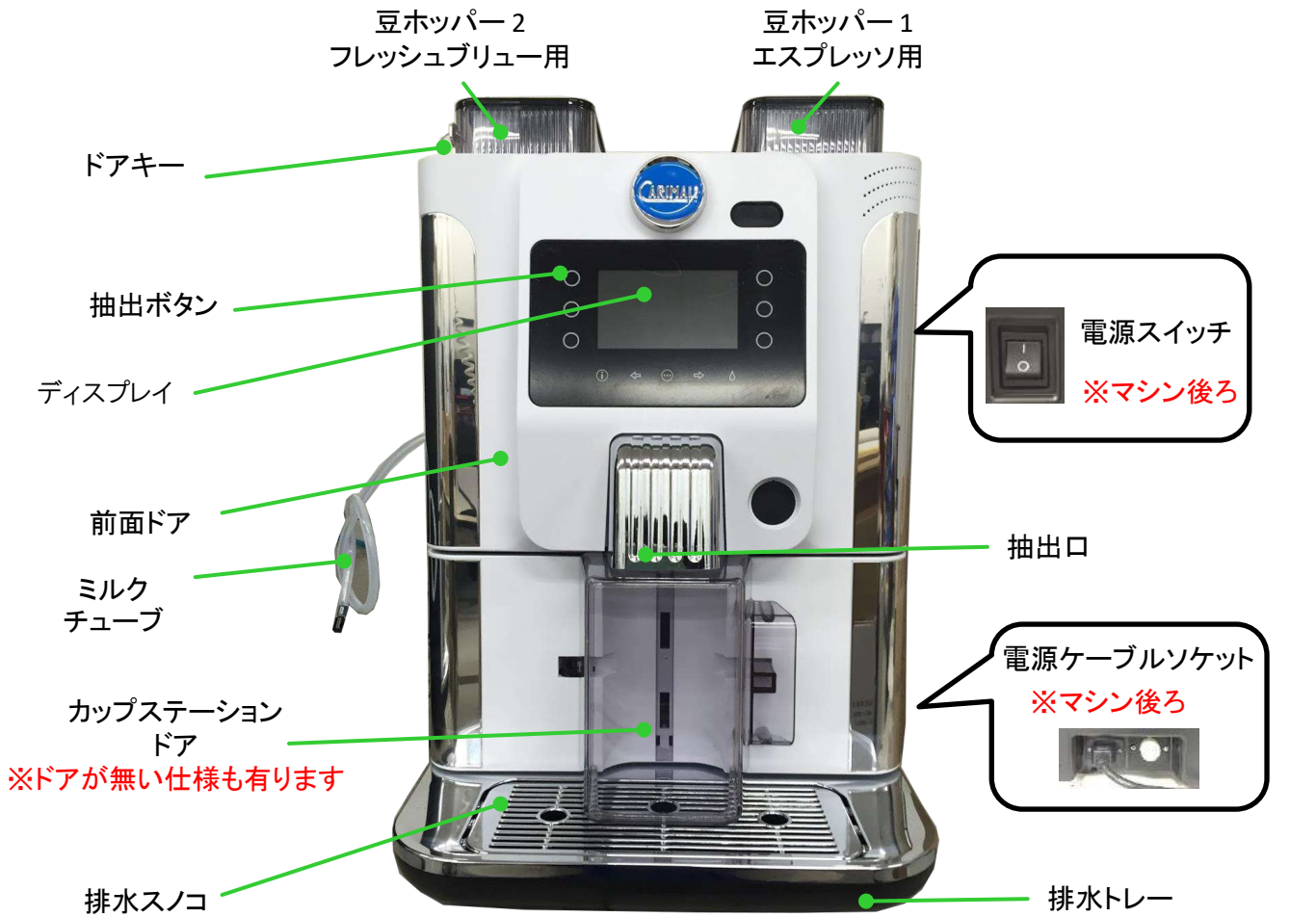
各部の名称

F22



各部の名称

EF20M



各部の名称



原料の補充

- 1 コーヒー豆と各パウダーの粉を補充してください。

パウダーキャニスター

コーヒー豆ホッパー

フレッシュブリューコーヒー用
豆ホッパー

エスプレッソコーヒー用
豆ホッパー



F 22 タイプ



EF 20 M タイプ

- 2 補充する原料が入る容器のふたのカギを開けてふたを取ります。

カギを反時計回りに開ける



- 3 使用するコーヒー豆、各パウダーの粉を補充してふたを閉じ、カギを閉めてください。

カギを時計回りに閉める



開店前の準備手順（マシンの立ち上げ）

- 1 マシン後ろの電源スイッチをON（一側）する。



- 2 ディスプレイがOFF画面になったら決定ボタンを押します。



決定ボタン

- 3 ヒーティング表示に変わり設定温度までボイラーをヒーティングします。約5分



ボイラーヒーティング表示

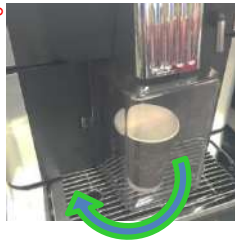
- 4 ヒーティングが終わると画面が販売表示になります。



メニュー抽出

- 1 カップステーションドアを開け、抽出口下にカップをセットしてください。

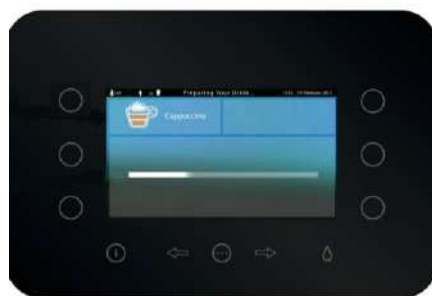
※カップステーションドアが無い場合もあります。



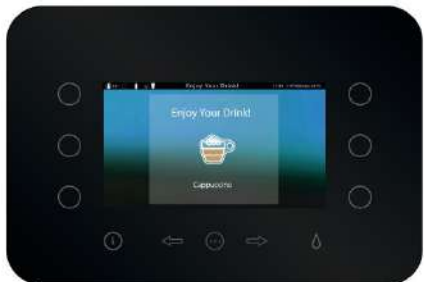
- 2 お好みのメニューボタンを押してください。



- 3 抽出画面に進行バーが表示されます。



- 4 抽出が終わると表示が変わります。



- 5 カップをお取りください。

※カップステーションドアが無い場合もあります。



- 6 画面が販売表示になれば抽出が可能になります。

※カップステーションドアが有る場合はドアを開けると表示が変わります。



◎コーヒー豆補充

コーヒー豆が無い状態で抽出するとエラーが出て止まります。豆を補充してください。

※アラームが出る前にこまめに補充をお勧めします。

※エラーの数字はホッパーの位置を示しています。

※補充するホッパーを間違えると味が変わります。



F 22



EF 20M

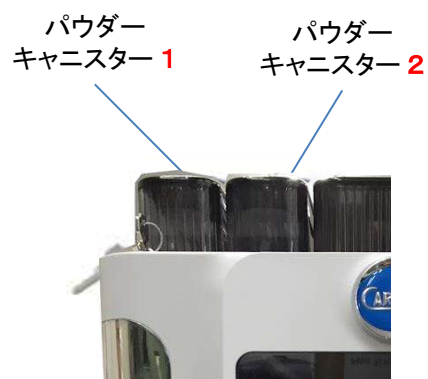
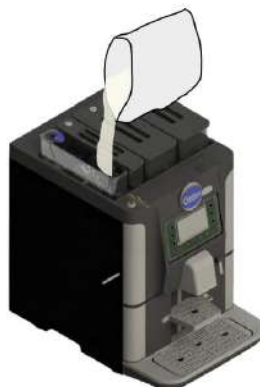
◎パウダーの補充 (F22のみ)

パウダーの粉がない状態でもアラームは表示されません

※こまめに補充をお勧めします。

※エラーの数字はホッパーの位置を示しています。

※補充するホッパーを間違えると味が変わります。



◎水タンクの水補充 (F22 タンク式のみ)

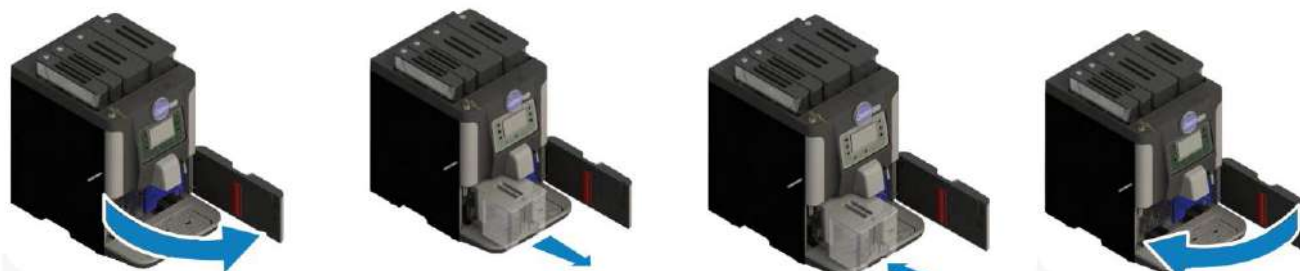
※ F22 でも水道直結式にして使用している場合は不要

700ml程になるとアラームが表示されます。

水を補充してセットしてください。

※カップステーションドアがある場合は鍵を解除し前面ドアを開けて

水タンクを抜きます。給水タンクを戻した後、前面ドアを閉めて電源をONしてください。



注：給水タンクには浄(軟)水器から出したお水を補充してください。給水タンクのお水は毎日入替えてください。

◎コーヒーカス箱のカス廃棄

コーヒーの抽出カウンターが下記の杯数をカウントした時に「**FBカス箱を空にする**」または「**両方のカス箱を空にする**」が表示されます。溜まったコーヒーのカスを捨ててください。

※抽出のカウントが設定杯数に達するとアラームが出る様になっています。

※カス箱が2個あるEF20Miは「**両方のカス箱を空にする**」と表示されます。2個とも空にしてください。

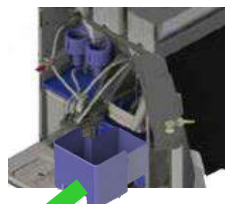
- ・エスプレッソコーヒー側カス箱カウンター設定
スクリュー無し: 20杯、スクリュー有り: 50杯
- ・フレッシュブリューコーヒー側カス箱カウンター設定: 35杯



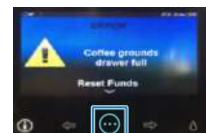
スクリュー有り

▶ カップステーションドアが**有る**場合

- ①ドアキーを解除して前面ドアを開けます。
- ②コーヒーカス箱を抜いてカスを捨てたら元に戻してください。
- ③前面ドアを閉じてからドアキーを閉めます。
- ④下の画面が表示されたら決定ボタンを押す。
- ⑤下の画面が表示されたらリセットボタンを押してください。



決定ボタン



リセットボタン

▶ カップステーションドアが**無い**場合

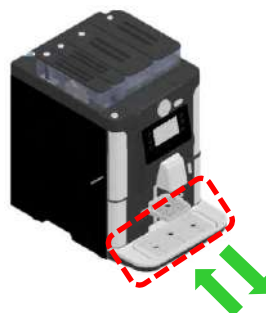
- ① 前面 下ドアを開ける。
- ②コーヒーカス箱を抜き溜まったカスを捨ててください。
- ③画面が「カス箱が抜けてます」表示に変わり10秒程待つてからカス箱を戻します。
- ④ 前面 下ドアを閉める。
- ⑤下の画面が表示されたら決定ボタンを押す。



決定ボタン

◎排水トレイの排水廃棄

排水トレイが満杯になると「**排水トレイが満杯です**」が表示されます。排水トレイを抜いて溜まった排水を捨ててください。
※トレイの抜き差しの際、画面表示が変わるまで10秒程かかります。



排水トレイをマシンに戻す際は奥まで差し込んでください



トレイの金属部が汚れによりご検知を起こします。※きちんとセットしているのに「**排水トレイをセット**」等が出やすくなります。排水を捨てた後、トレイ金属部をきれいに拭き取ってからトレイをマシンに戻してください。

クリーニングモードを使い、コーヒー、ミキサー、ミルクの各経路のクリーニングを行ってください。



※クリーニングは必ず行ってください。怠ると故障の原因になります。

※コーヒー経路のクリーニング以外はマシンのタイプにより違いがあります。

○ 使用するクリーナー



コーヒーマシンクリーナー

コーヒーの抽出経路で使用
します。

※タブレット状のクリーナー



ミルクチューブクリーナー

ミルクの抽出経路で
使用します。

※液体のクリーナー

※EF20Mのみ使用

◎クリーニングモードの種類

クリーニングモードには下記の種類があります。

毎日行なうモードはオールインワンクリーンを選択してください。

その他モードを単独で行う場合は画面の指示に従って操作してください。

- ・オールインワンクリーン：各経路のクリーニングを連動して行なうモードです。
※ マシンのタイプにより行われる工程が違いますので下記のページの手順で行います。

F22を使用の場合 → P14～P15

EF20Mを使用の場合 → P16～P18

その他モード

- ・グループクリーニング：各コーヒー抽出経路のクリーニングを単独で行うモードです。
 ** 簡易リンス・・・お湯で流す清掃
 ** グループクリーニング・・・マシンクリーナーを使用して行なう清掃
 (* ** 印には各抽出ユニットの種類が表示 ES:エスプレッソ、FB:フレッシュブリュー)
 ※ マシンのタイプによりコーヒー抽出経路の数が異なります。
- ・ミキサークリーニング：パウダー抽出経路お湯で清掃するモードです。
- ・ミルククリーニング：ミルクの抽出経路をクリーナーを使用して行なうモードです。

F22はコーヒー、ミキサーの各経路のクリーニングを行います。

! ※クリーニングは必ず行ってください。怠ると故障の原因になります。

1 コーヒー、パウダーの抽出ノズルをブラシを使用して掃除してください。



2 ※給水タンク使用している場合のみ
給水タンクに満タンまで水を補充してマシンにセットしてください。



※水の補充が少ないとクリーニングが途中で止まります。

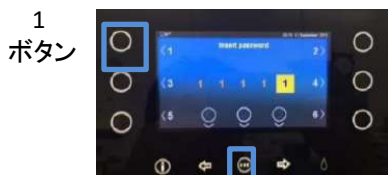
3 メニュー画面が表示されたらクリーニングモードに入るため、(i)ボタンを押します。



i ボタン

4 ※セルフ仕様の場合のみこの画面が出ます。

1ボタンを5回押して画面に [XXXXX] と入力して決定ボタンを押します。



決定ボタン

5 クリーニングを選択します。

クリーニングボタン



6 [オールインワンクリーン] にカーソルが合っていれば決定ボタンを押します。



決定ボタン

7 下の画面になったら決定ボタンを押してください。



決定ボタン

ドア開—クリーナ投入
ドア閉

が表示され5秒程待ち次に進みます。
(時間が早いとクリーニングモードに入りません)



8 ドアキーを解除して前面ドアを開けます。



9 抽出ユニットの穴にマシンクリーナーを入れます。



コーヒーマシンクリーナー フレッシュブルー用

10 前面ドアを閉めてドアキーを閉じます。



11 抽出ノズル下に排水受け容器を置きます。



12 画面が変わりましたら決定ボタンを押してスタートさせます。



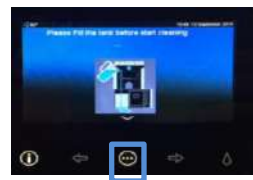
決定ボタン

13 ※ 給水タンクをご使用の場合のみ下の画面が表示されます。

給水タンクが満タンの場合には決定ボタンを押してスタートさせます。
補充をしていなかった場合は必ず3L以上に補充してからスタートしてください。



注: クリーニング中に給水タンクの補充アラームが出た場合、補充後一番はじめからクリーニングが始まります。



決定ボタン

14 Yes(右矢印 →)またはNo(左矢印 ←)を選択する。

(クリーニング終了後の状態を選択します)

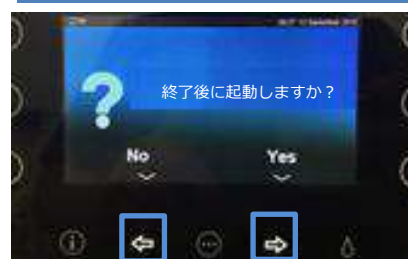
Yesを選択: クリーニング終了後メニュー画面に戻る。



Noを選択: クリーニング終了後OFF画面になる。



終了後に起動しますか?

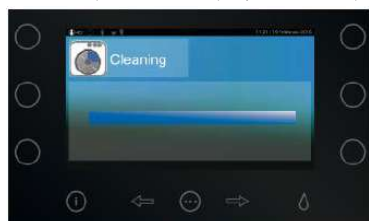


ボタン(No)

ボタン(Yes)

15 クリーニングがスタートし各クリーニングが順番に行われます。

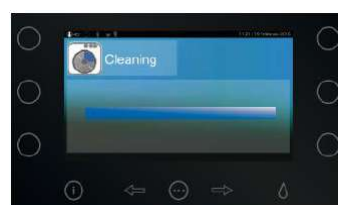
ミキサークリーニング
→ グループクリーニング



16 クリーニング中に [排水トレイが満杯です]と表示された場合は、排水トレイを抜いて排水を捨ててください。クリーニングが再開されます。
※トレイの抜き差しの際、画面表示が変わるまで10秒程かかります。



排水トレイが満杯です



17 クリーニングが終了すると 14 (14番) で選択した状態で終わります。

Yesを選択: メニュー画面



Noを選択: OFF画面



EF20Mはコーヒー(2種類)、ミルクの各経路のクリーニングを行います。

! ※クリーニングは必ず行ってください。怠ると故障の原因になります。

1 コーヒー抽出ノズルをブラシを使用して掃除してください。



2 クリーニングモードに入るため、(i)ボタンを押します。

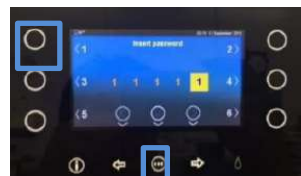


i ボタン

3 ※セルフ仕様の場合のみこの画面が出ます。

1ボタンを5回押して画面に [XXXXX] と入力して決定ボタンを押します。

1
ボタン



決定ボタン

4 [オールインワンクリーン]にカーソルが合っていれば決定ボタンを押します。



決定ボタン

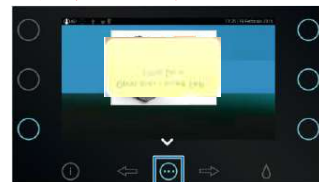
5 下の画面になったら決定ボタンを押してください。



決定ボタン

ドア開—クリーナ投入
ドア閉

が表示され5秒程待ち次に進みます。(時間が早いとクリーニングモードに入りません)



6 ドアキーを解除して前面ドアを開けます。



7 抽出ユニットの穴にマシンクリーナーを入れます。



※EF20M の場合は抽出ユニットが2種類有ります。それぞれの穴にクリーナーを入れてください。



フレッシュブルー用

エスプレッソ用

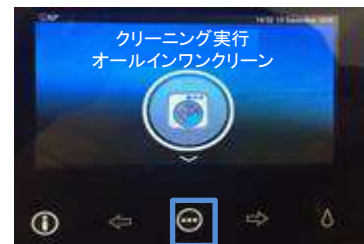
8 前面ドアを閉めてドアキーを閉めます。



9 抽出ノズル下に排水受け容器を置きます。



10 画面が変わりましたら決定ボタンを押してスタートさせます。



決定ボタン

11 左記の画面でYes(右矢印 →)またはNo(左矢印 ←)を選択する。

(クリーニング終了後の状態を選択します)

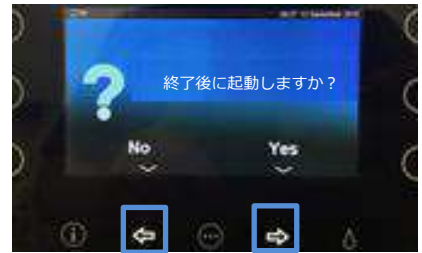
Yesを選択: クリーニング終了後
メニュー画面に戻る。



Noを選択: クリーニング終了後
OFF画面になる。



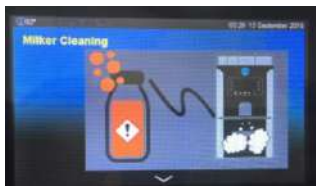
終了後に起動しますか?



ボタン(No)

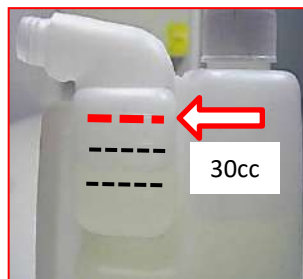
ボタン(Yes)

12 ミルカークリーニング用の
洗浄液を作成します。



ミルクチューブクリーナー

13 ミルクチューブクリーナーの
投入口キャップを外し、容器
を押して30cc分を取ります。



14 洗浄用ボトルにお水300cc
を入れ(お湯は厳禁)、30cc
のクリーナーをボトルに追
加して洗浄液を作ります。



15 ミルクチューブを洗浄ボトル
に差し込みセットします。



16 セットしたら下記の表示で
決定ボタンを押します。



決定ボタン

17 決定ボタンを押します。

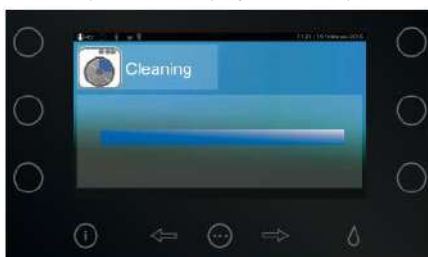
※クリーニング終了後にミルク
チューブ拭き清掃の案内が出
ます。



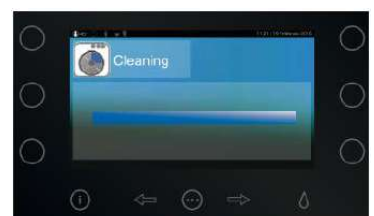
決定ボタン

18 クリーニングがスタートし
各クリーニングが順番に行
われます。

ミルカークリーニング
→ グループクリーニング



19 クリーニング中に
[排水トレイが満杯です]と表示された場合は排水トレイを
抜いて排水を捨ててください。
クリーニングが再開されます。
※トレイの抜き差しの際、画面表示が変わるまで10秒程
かかります。



20 クリーニングが終了すると 11 (11番)で選択した状態で終わります。

Yesを選択：メニュー画面



Noを選択：OFF画面



21 ミルカークリーニングで使用したボトルにはミルカークリーニングのすすぎ工程でマシンから出たお湯が入っていますので捨ててください。
ペーパータオルにアルコール除菌剤を噴霧し、ミルクチューブの外側の拭き清掃をしてください。



毎日のお手入れ ミルカークリーニングの単独操作 EF20Mのみ

※ミルクを使用するメニュー(カフェラテやカプチーノ等)を多く抽出した後はミルク汚れの固着低減の為ミルカークリーニングモードでミルク経路の清掃を行ってください。

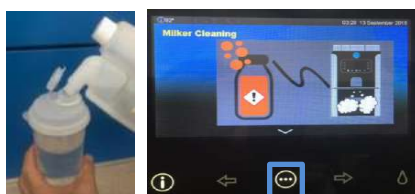
1 クリーニングモードに入り下の画面で ↓ボタンを押してカーソルを[ミルカークリーニング]に合わせて決定ボタンを押します。



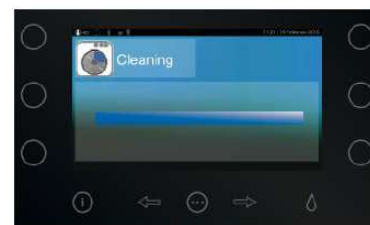
↓ボタン

決定ボタン

2 洗浄用ボトルに洗浄液を作り(お水300cc+クリーナー30cc)ミルクチューブをセット後スタートさせます。



決定ボタン



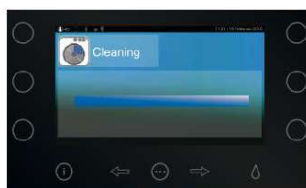
クリーニングがスタートします。

3 すすぎを行います。(ミルカークリーニングのみの操作ではすすぎ用の水を使用します)お水300mlをボトルに入れてセットし決定ボタンを押してください。



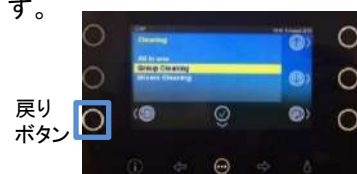
300mlのお水をセットしてください。

決定ボタン



すすぎがスタートします。

4 すすぎ終了後下の画面に戻ります。戻りボタンを押すとOFF画面になります。



戻りボタン

OFF画面



カス箱、排水トレイ、給水タンクの水洗い清掃を行ってください。



※カスを廃棄してもカス箱のカウンターはリセットされません。



※トレイの金属部は特にきれいにしてください。



※給水タンクを使用している場合のみ



注意: マシンから外せる物は食器洗浄機や乾燥機は使用しないでください。

週1回のお手入れ 分解清掃、拭き清掃について

クリーニングモードでは行えない部分の清掃を行ってください。

F22、EF20M共通： 豆ホッパー

F22：ミキサーボディー分解清掃、パウダーキャニスター清掃方法

EF20M：ミルク分解清掃

週1回のお手入れ 豆ホッパーの清掃方法 F22、EF20M共通

1 豆ホッパー容器内側の油分の拭き取り清掃を行います。

コーヒー豆が少なくなった時または、空の状態で行うことおすすめします



2 鍵を開け豆ホッパーのふたを外します。



3 ホッパー内部をペーパータオルで拭き取ります。



4 豆を補充して豆ホッパーのふたを元に戻し鍵を閉めます。



5 下図の画面になったら決定ボタンを押す。



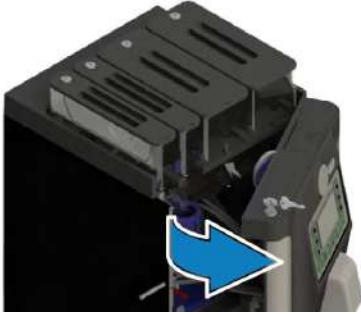
決定ボタン

6 ディスプレイは販売画面になります。



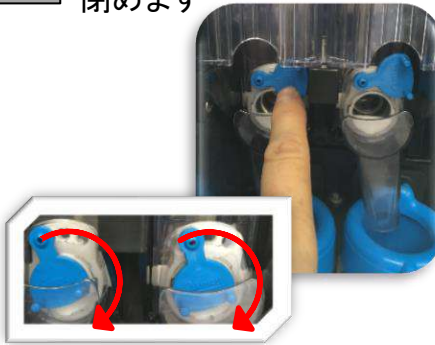
1

ドアキーを解除して
前面ドアを開けます。



2

パウダー出口シャッターを
閉めます



3

パウダーチューブを引
き抜きます



4

ミキサーロックを右側にス
ライドします



5

ロックが外れましたらミ
キサー本体を手前に
引き抜いてください



6

ミキサー本体を分解します
エアー抜きラバーの取り
はずし(引き抜くことで取り
外せます)



7

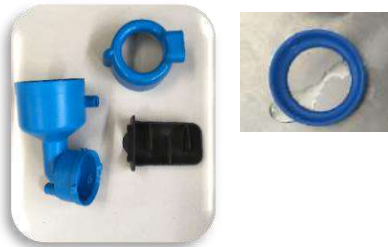
ふたとの取りはずし

ふたを軽く回し
事で取りはずせ
ます)



8

外したパーツをシンクで
抽出口清掃用ブラシを使用
して水洗いします



9

エアー抜きラバーは、
ペーパータオルで水分を
しっかり拭き取ります



10

リングをミキサーボディー
に取り付けます



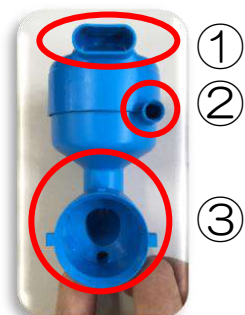
11

ふたとの取り付け
の注入口とふたの切込
みを合わせて組み立てま
す



12

完成品は、①②③すべ
てが同じ方向になります



13 ミキサー本体にエア抜きラバーを取り付けます



14 マシンにミキサー本体の取り付けを行います




15 ミキサー本体の切りかき部を合わせまっすぐ挿入します




16 ミキサーロックレバーを左側に回しロックします

17 パウダー用チューブを取り付けます

(注)  ミキサー本体を軽くひき、確実にロックされているか確認。



(注)  チューブの挿し忘れに注意。
挿し忘れるとパウダー液がマシン内部に漏れます

ミキサー取付け時の注意点



① エア抜きラバー差込口

② パウダーお湯出口

③ ミキサー攪拌部

ミキサーを取付ける時は①→②、③の順に差し込みます。



ミキサー攪拌部の凸凹をしっかり差込んでください。



ミキサーロックレバーを回しロックすると凸凹は隠れます。

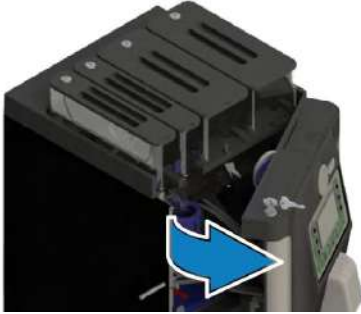


 (注) 取りつけ不備で液漏れが発生します。

週1回のお手入れ パウダーキャニスター清掃方法 F22のみ

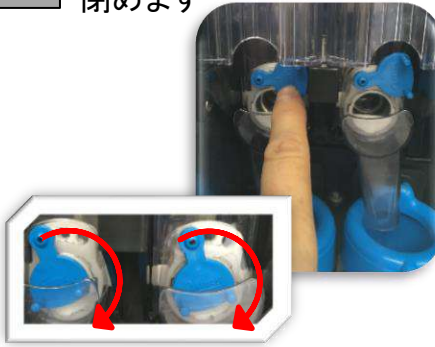
1

ドアキーを解除して
前面ドアを開けます。



2

パウダー出口シャッターを
閉めます



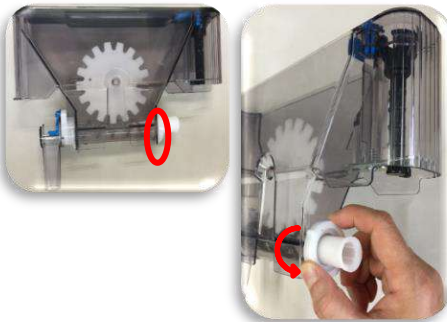
3

パウダーキャニスターを
奥に傾けながら上に持ち
上げて取り外します



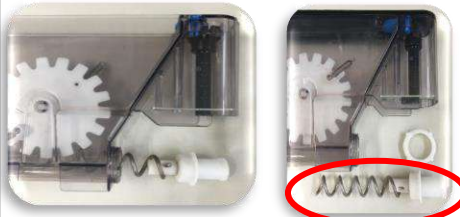
4

送リスクリー固定リング
を左に回して外します



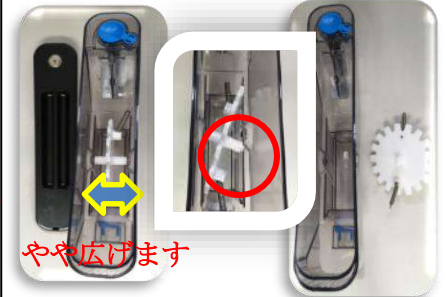
5

送リスクリーを左に回し
ながらキャニスターより抜
きます



6

キャニスター内側側面を
やや広げながら凹位置か
ら回転ホイールを外します



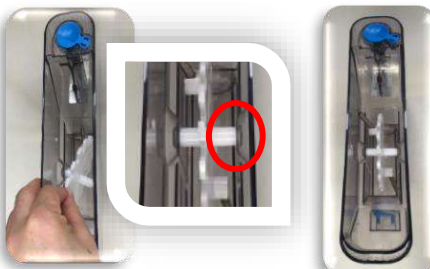
7

洗浄し乾いた布もしくは、ペー
パーで十分拭き取って乾燥さ
せてからご使用ください



8

キャニスター内側側面をやや
広げながら回転ホイールを
挿入し凹位置にセットします



9

送リスクリーを取り付け
ます



10

送リスクリー
固定リングを右
に回してセッ
トします。



送リスクリーを
手回しで反時計
方向に回し、ス
ムーズに回転す
るか確認します

11

キャニスターのまわりを
清掃し、取外した時とは
逆の手順でキャニスター
を本体に取り付けます



12

パウダー出口シャッター
を開いて終了です

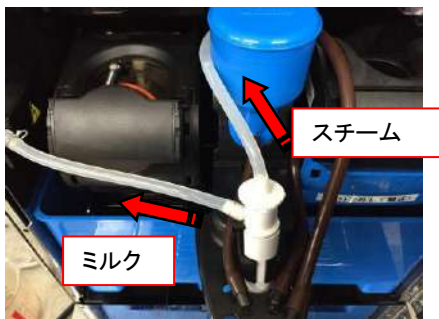


注: パウダー出口シャッターを閉じた状態で抽出を行なうと故障の原因につながります。

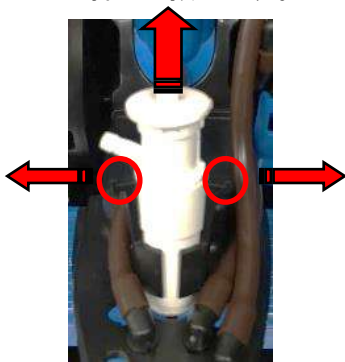


注: 回転ホイールのバネが送リスクリーに引っかかる時は再度取り付け直してください

1 ミルカー接続されているチューブ(ミルク用及びスチーム用)を抜きます。



2 ミルカー取り付けホルダーを指で広げながらミルカーを下から押して抜きます。



3 ミルカーを左右に引っ張り、最下部①の部品を引き抜きます。



4 左手で下部②を持ち、右手で上部③④を反時計回りに最後までまわしてロックを解除し、上方向に引き抜きます。
※力を加えながらゆっくり引き抜いて下さい。



5 左手で下部③を持ち、右手で上部④を反時計回りにまわしてロックを解除し、上方向に引き抜きます。



6 分解したミルカーをミルカークリーニング作成したときと同じ様に洗浄液を作り(クリーナーを水で10倍希釈)つけ置きします。(10分以上)つけ置き後取り出したミルカーは流水でよくすすぎながらブラシにて汚れを落とします。



⚠ ※汚れがひどい場合はつけ置き時間を延長してください。

7 パーツは洗浄後、濡れた状態で組み立てます。(Oリングがスムーズに入りやすいです)
 ※ 組み立ての際、Oリングに欠けや切れまたは、リングが緩くないかを確認し、破損等がある場合はOリングを交換して下さい。

◎ Oリングの交換方法 ※ 予備のOリングがなくなった場合は注文して下さい



- ①つま楊枝をOリングの右側に添えます。
- ②部品を手前に回しOリングを浮かせます。
- ③Oリングを引っ張り外します。
- ④新しいOリングを取り付けます。

⚠ ※ つま楊枝で手をケガしないように注意して下さい。

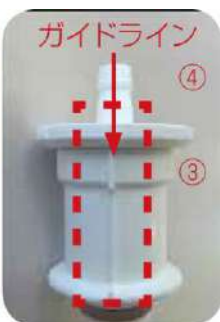
8 ミルカーを組み立てます。
 上部2つのパーツ③④の凹凸位置を確認します。



9 パーツ③④の凹凸に注意しながら組み合わせます。



10 隙間がないようにしっかりと組み合わせ、時計回りに回してロックします。



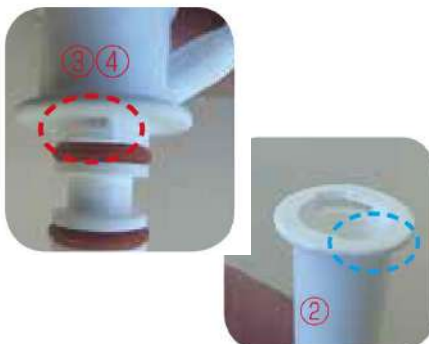
隙間があるとカップ量が少ない、ミルクが泡立たない、もしくは泡立ちが悪い等の原因となります



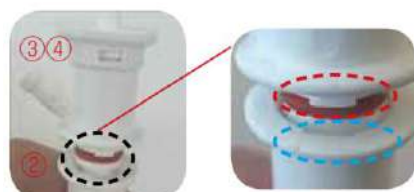
11 組み立てたパーツ③④と次のパーツ②を組み合わせます。



12 2つのパーツの凹凸位置を確認します。



13 2つのパーツの凹凸に注意しながら組み合わせます。



14 隙間がないようにしっかりと組み合わせ、時計回りに回してロックします。



隙間があると
カップ量が少ない、
ミルクが泡立たない
もしくは泡立ちが
悪い等の原因と
なります



ガイドラ
インに合
わせるよ
うに組み
合わせて
下さい

15 組み立てたパーツ②③④と最下部のパーツ①を組み合わせます。



16 隙間がないようにしっかりと組み合わせます。→ 完成。

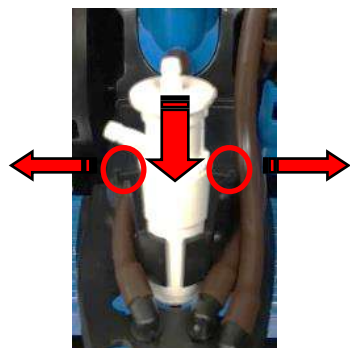


隙間があるとカップ量
が少ない、ミルクが
泡立たない、もしくは
泡立ちが悪い等の原
因となります



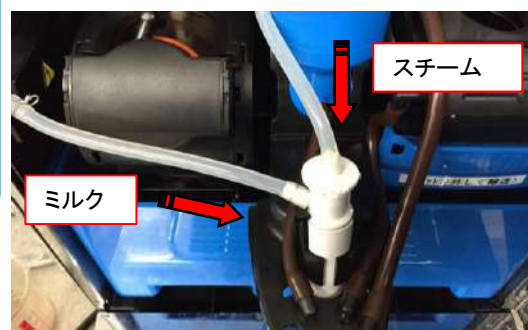
最下部①
のパーツ
にはライ
ンはありません

17 ミルカーホルダーを少し広げながらミルカーをセットします。



18 ミルカーにチューブ(ミルク用、スチーム用)を差し込みます。

⚠ シリコンチューブは
差し間違いのないよ
うに注意して下さい。
差し間違えるとミルクが抽
出されない原因となります。



稼働した週は週に1回の頻度で終業時に抽出ユニットの分解洗浄を行ってください。

注意 :行わないと抽出ユニットに残った古いコーヒークラスにより食品衛生悪化、ドリンク品質の悪化、マシン故障が発生する可能性があります。

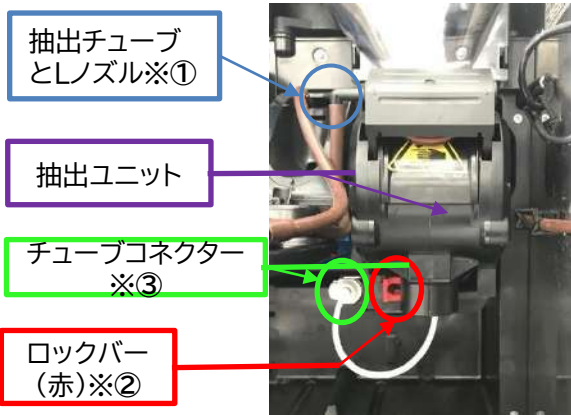
! 誤った手順で行った場合、ケガ、部品の破損、抽出ドリンクの品質の悪化が発生する可能性があります。規定の手順で実施ください。

抽出ユニットを外して分解洗浄してください。
エラーの発生や故障の原因の予防になります。

[グループエラー**](**は番号)が表示された場合、この手順に従い清掃することで改善する事があります。
抽出ユニットの取り外し作業は事前にアルコールスプレーを手に噴霧してから行います。



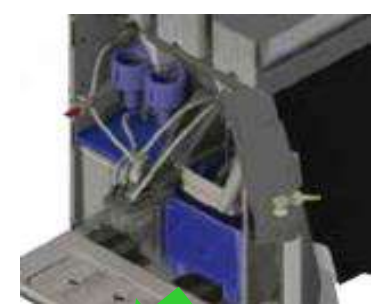
スマートフォンやタブレットからこちらのQRコードにアクセス頂くと、分解洗浄の動画をご覧いただけます。



1 ドアキーを解除して前面ドアを開けてください。

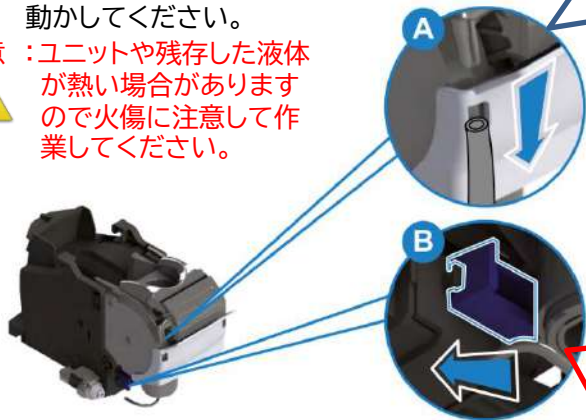


2 カス箱を抜いてください。

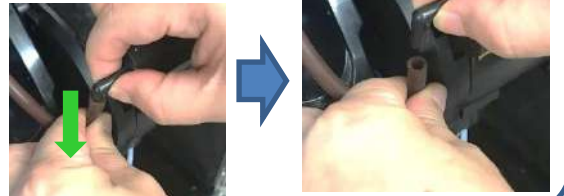


3 ・ユニットの抽出チューブ(A)を抜いてください。
・ユニット下の赤いロックバー(B)を左に動かしてください。

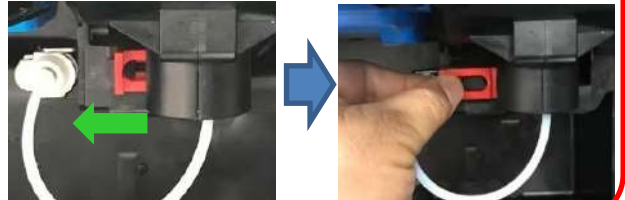
注意 :ユニットや残存した液体が熱い場合がありますので火傷に注意して作業してください。



※① 抽出チューブとノズル



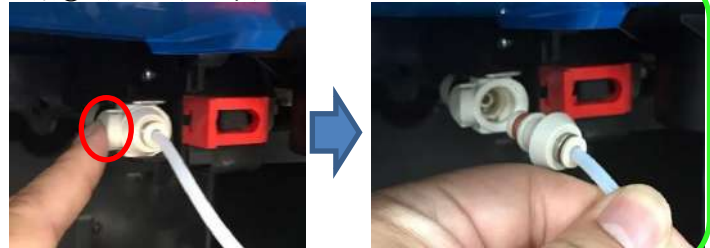
※② ロックバー(赤)



4 ユニット下左にあるインレットチューブコネクター(A)のボタンを押すと(B)の部分よりチューブコネクターのロックが解除されます。コネクター抜いてください。



※③ チューブコネクター



5

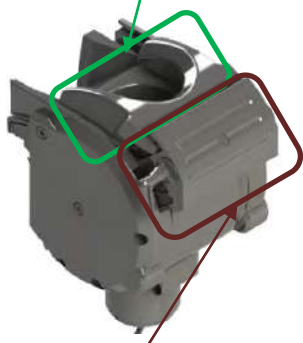
・抽出ユニットを写真の様に持ち(親指を写真の様にそえる)、矢印方向(斜め下)に動かすと取り付け部からユニットが外れます。



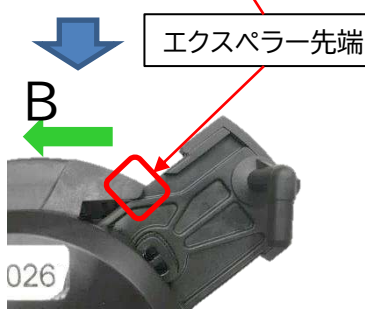
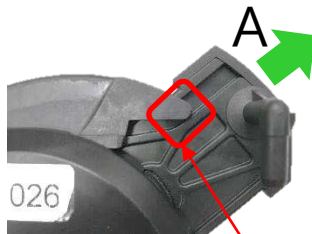
6

抽出ユニットから上ピストンを少し抜き(A)エキスペラーをスライドさせ(B)エキスペラー先端をレール溝から外してください。

エキスペラー
(カスを廃棄する部分)

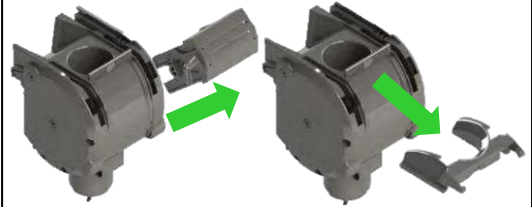


上ピストン
(コーヒー粉を圧縮する部分)



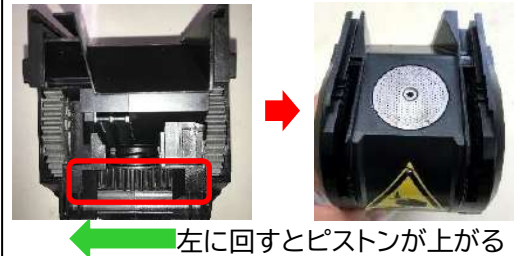
7

上ピストン、エキスペラーを抽出ユニットから外してください。



8

下ピストンが一番上に来るようにギアを手で左回転させてください。



9

①ユニット本体 ②上ピストン ③エキスペラーを水洗いしてください。

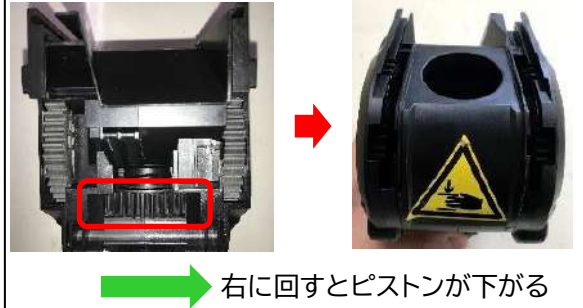


ユニット本体のギア部洗浄は、ブラシを使用してください。
詳細は次ページに記載

10 ユニット本体ギア部の洗浄は付属の1番大きいブラシを使用反転させ、裏側も洗浄してください。



11 下ピストンが一番下に来るようにギアを手で右回転させてください。



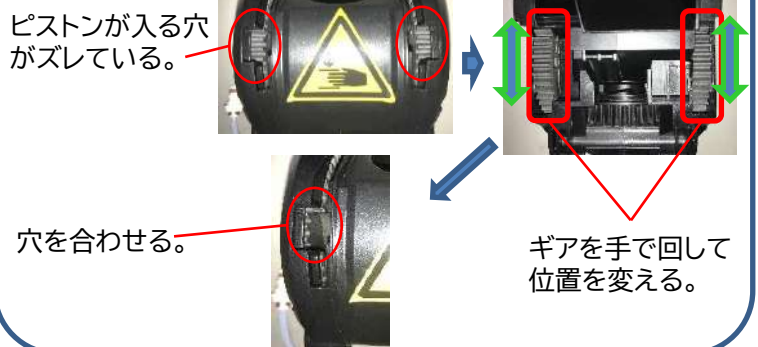
12 ペーパータオルやタオルで水分を拭きとってください。



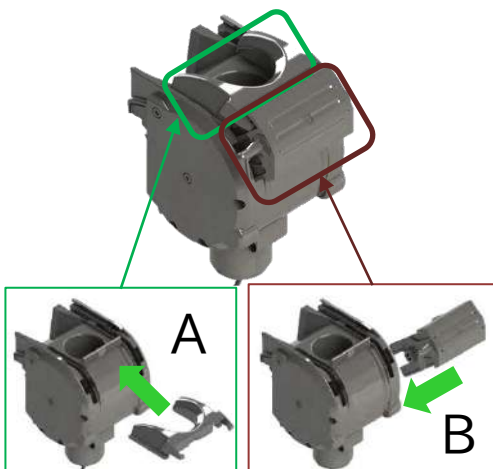
水分を拭き取らないで組み立てを行うと取り付け後エラー表示する場合があります

※抽出ユニットの溝に上ピストンが入らない場合

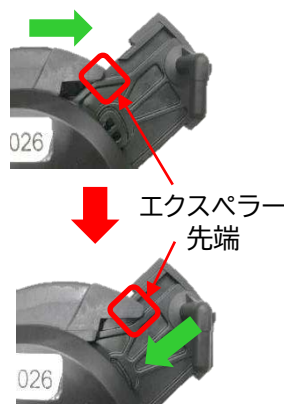
- ①上ピストンの向き間違い。
チューブの差し込むノズルが左側になるように取り付けする。
- ②ユニットの中のギア位置がズれている。
ユニット後ろのギアを回して上ピストンが入る位置に穴を合わせる。



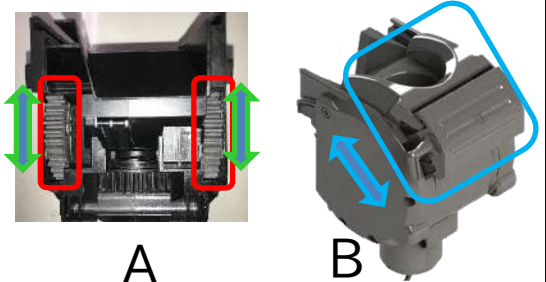
13 抽出ユニットを組み立てます。



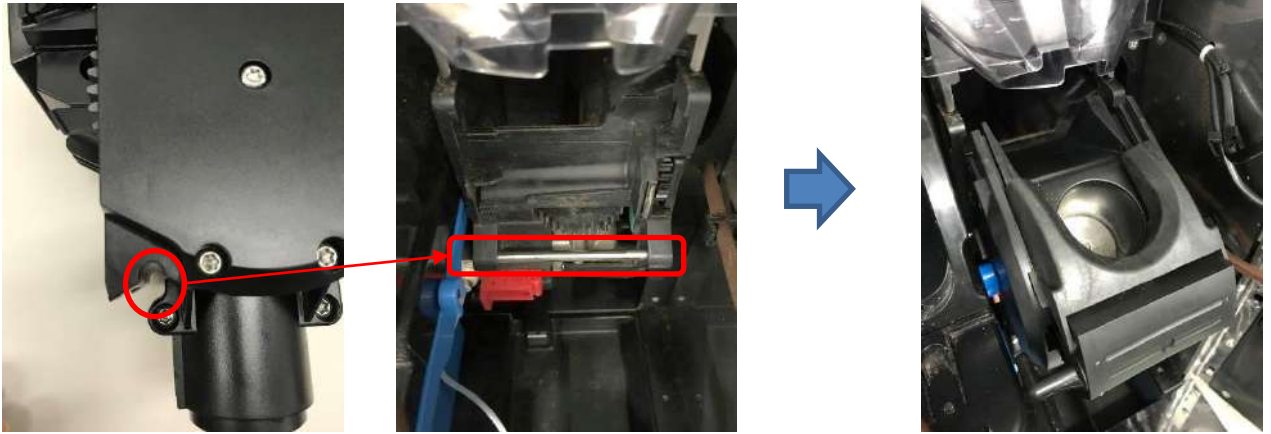
エクスパーの爪をピストン横の溝に通すように連結させます。



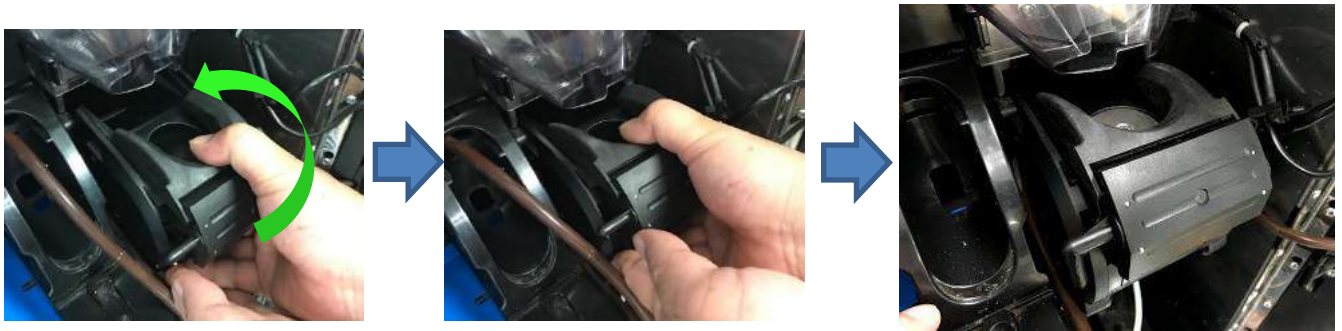
14 後ろのギアを手で回して(A)、上ピストンとエクスパーが連動して前後に動くか(B)確認してください。



15 抽出ユニット下の写真の赤丸部分をマシン側ユニット取付部の金属バーに引っ掛けるように載せてください。



16 一方の親指でエクスペラーを手前に抑え、もう一方の手を添えて、両手で抽出ユニットを矢印方向押し込んでください。ユニットが固定されます。

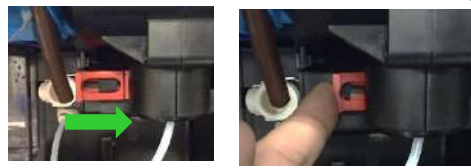


17 ①ユニット下左にあるインレットチューブコネクターにコネクターを差し込みロックさせてください。
 (カチッという感触があります。軽く引っ張り抜けなければロックされています)
 ②ユニット下の赤いロックバーを右に動かしてください。(ユニットがロックされます)
 ③ユニットの抽出チューブをノズルに差し込んでください。

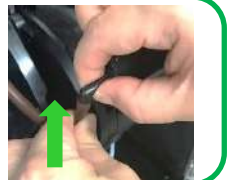
①



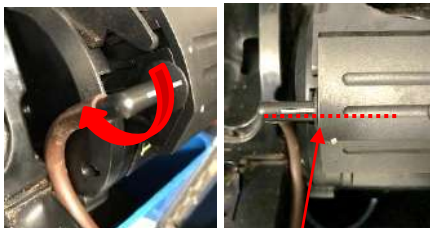
②



③

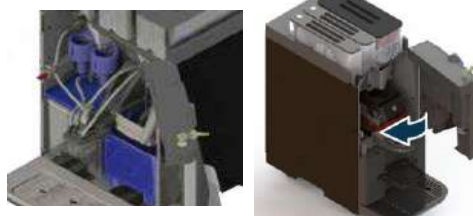


18 抽出ユニットのノズルが奥向きになるようチューブを調整してください。



ユニットの溝とノズルが一直線になる位置

19 カス箱を戻し、前面ドアを閉めてドアキーを閉じてください。

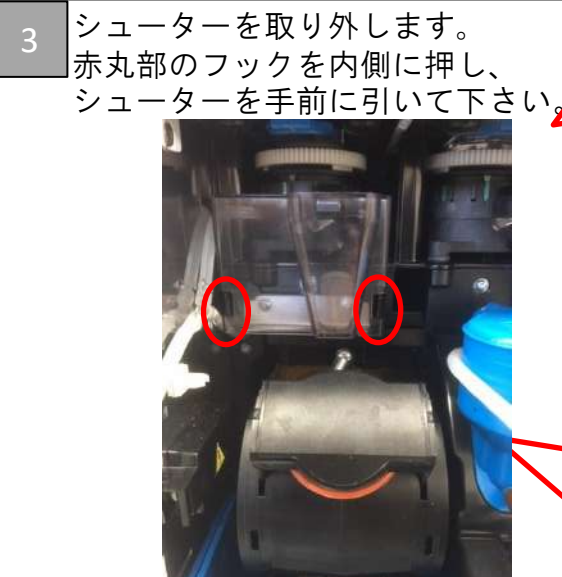
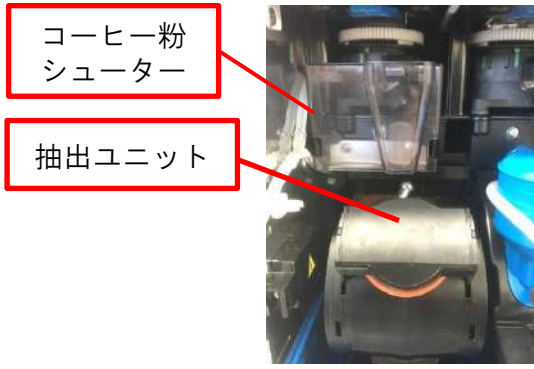


※マシンを起動させた後エラーが表示された場合はユニットがきちんと取り付けられていないことが考えられます。

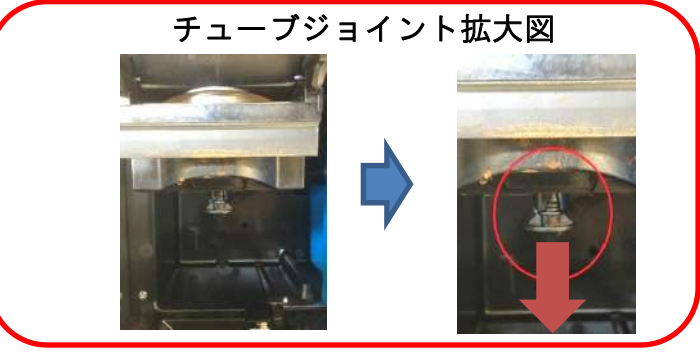
再度赤いロックバーを左に動かしてからユニットの取り付けをもう一度やり直してください。

グループエラー2が出た際は抽出ユニットを外して清掃後に再度取り付けて下さい。
 他の【グループエラー**】（**は番号）が表示された場合でも、本手順に従い清掃することで改善する事があります。

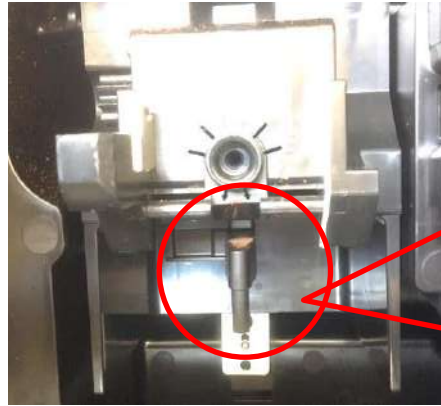
作業前に抽出ユニットの取り外し作業は事前にアルコールスプレーを手に噴霧してから行います。



右側のフックを押してから左側を押すと取り外し易いです。（左記画像はEF20M）
 ※F22の場合は左側のフックから外すと取り外しやすいです。
【注意点】
 無理に外すとシューターやフックが破損します。
 必ずフックの引っ掛かりが外れたことを確認してから外して下さい。



- 5 抽出ユニットを上を持ち上げながら手前にスライドさせて下さい。
取り付け部からユニットが外れます。



ユニットが外れない場合
ユニットの奥に手を入れ
赤丸部のアームが中央に
ある事を確認して下さい。
※アームが中央にないと
取り外し時に引っ掛かり
ユニットが外せません
のでアームを左右に
動かし中央に調整をして
下さい。

- 6 下ピストンが一番下に来るようにギアを手で下回転させて下さい。



カス払い部

下ピストン

- 7 カス払い部をユニットの後ろ側から引くと抜けますので外して下さい。



カス払いが外れない時は下ピストンが1番下まで下がっていない
可能性がありますので、工程6の
ギヤを下回転に回してみてください。

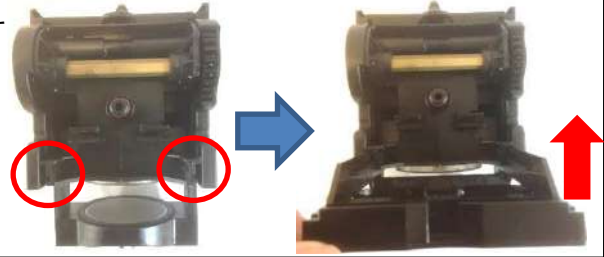
- 8 ユニットの水洗いして下さい。
水洗い後、水気をよく拭き取って下さい。

赤丸部の底にフィルターがあります。
フィルターに汚れがあると抽出に影響を
およぼすので入念に水洗いをして下さい。

ギヤの水気は入念に拭き取って下さい。
水気が残っているとコーヒーを抽出した際
の微粉が固着しトラブルの要因となります。

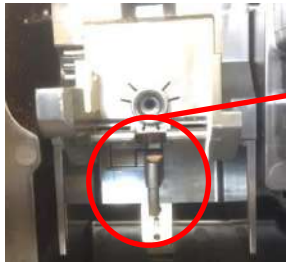


- 9 工程7で外したカス払い部をユニットに取り付けます。
赤丸部のくぼみにカス払い部を差し込み、奥まで差し込んで下さい。

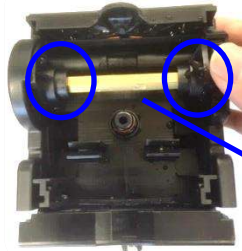


- 10 ①ユニットを取付ける前にユニット後部のアームが中央になる様調整をして下さい。
※アームは左右に動くので手で押して位置を調整して下さい。
ユニットをマシン本体に取り付けます。
赤丸部のくぼみにユニットの固定バー左右の青丸部をはめ込むように取り付けます。
くぼみにユニットの固定バーが乗っかかりましたらユニットを下に押しして下さい。

①



ユニット後部 アーム



ユニット固定バー

②



- 11 工程2で外したチューブジョイントをユニットに差し込んで下さい。



- 12 工程3で外したシューターを取付けて下さい。
※工程3では右から外しましたが取り付ける際は左側から取り付けて下さい。



- 13 前面扉を閉める前にシューターとチューブジョイントがしっかり取付られている事を確認して下さい。



取付が正常に行えていないと
グループエラー・水漏れの原因となります。

- 14 カス箱を戻し、前面ドアを閉めてドアキーを閉じます。



※マシンを起動させた後
グループエラーが表示
された場合はユニットが
きちんと取り付けられて
いない事が考えられます。
再度、ユニットの脱着を
行って下さい。

マシンの電源OFF

- 1 販売画面の状態
(i) ボタンを押します。

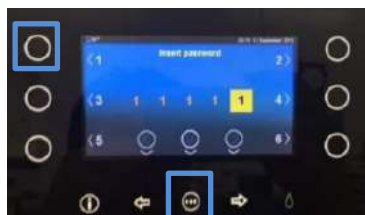


(i) ボタン

- 2 ※セルフ仕様の場合のみこの画面が出ます。

1ボタンを5回押して画面に [XXXXX] と入力して決定ボタンを押します。

- 1
ボタン



決定ボタン

- 3 スイッチ OFF ボタンを押します。

スイッチ
OFF
ボタン






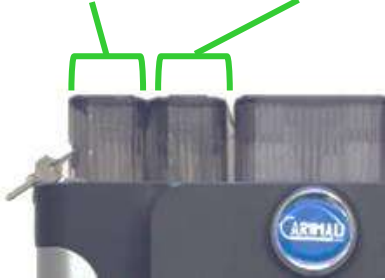
- 4 OFF画面になります。



- 5 マシン後ろの電源スイッチをOFF(○側)する。



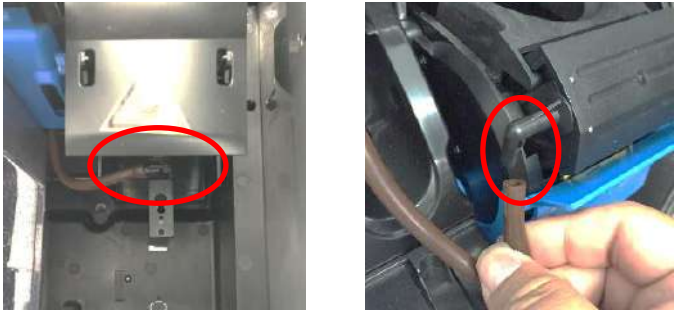
アラーム表示 ①

各アラームディスプレイ表記	原因	処置
<p>コーヒー豆無し - 1</p>  <p>コーヒー豆無し - 1</p>	<p>右側コーヒー豆ホッパーにコーヒー豆がありません。</p> <p>右側コーヒー豆ホッパーのストッパーが閉じています。</p> <p>シューターに粉が詰まっていないか。</p>	<p>① 各コーヒー豆ホッパーにコーヒー豆を補充してください。</p> <p>② 各コーヒー豆ホッパーをストッパーを開けてください。</p> <p>③ シューターを清掃し粉を除きます。</p> <p> 豆を入れただけではメッセージは消えません。補充後起動するとメッセージが消えます。</p> 
<p>コーヒー豆無し - 2</p>  <p>コーヒー豆無し - 2</p>	<p>左側コーヒー豆ホッパーにコーヒー豆がありません。</p> <p>左側コーヒー豆ホッパーのストッパーが閉じています。</p> <p>シューターに粉が詰まっていないか。</p>	
<p>コーヒーホッパー 1</p>  <p>コーヒーホッパー 1</p>	<p>右側コーヒー豆ホッパーのふたのカギがロックされていません。</p> <p>右側コーヒー豆ホッパーが正しくセットされていません。</p>	<p>① 各コーヒー豆ホッパーのふたをきちんと閉じてカギをロックしてください。</p> <p>② 各コーヒー豆ホッパーを正しくセットして、豆ストッパーを開けてください。</p> <p>コーヒー豆ホッパー2 コーヒー豆ホッパー1</p> 
<p>コーヒーホッパー 2</p>  <p>コーヒーホッパー 2</p>	<p>左側コーヒー豆ホッパーのふたのカギがロックされていません。</p> <p>左側コーヒー豆ホッパーが正しくセットされていません。</p>	
<p>パウダー1</p>  <p>パウダー1</p>	<p>左側パウダーキャニスターのふたのカギがロックされていません。</p> <p>左側パウダーキャニスターが正しくセットされていません。</p>	<p>① 各パウダーキャニスターのふたをきちんと閉じてカギをロックしてください。</p> <p>パウダーキャニスター1 パウダーキャニスター2</p> 
<p>パウダー2</p>  <p>パウダー2</p>	<p>右側パウダーキャニスターのふたのカギがロックされていません。</p> <p>右側パウダーキャニスターが正しくセットされていません。</p>	

アラーム表示 ②

各アラームディスプレイ表記	原因	処置
<p style="text-align: center;">排水トレイが満杯です</p>  <p style="text-align: center;">排水トレイが満杯です</p>	<p>排水トレイが満水になっています。</p>	<p>① 排水トレイを抜いて溜まった排水を捨ててください。</p>
<p style="text-align: center;">排水トレイをセット</p>  <p style="text-align: center;">排水トレイをセット</p>	<p>排水トレイが抜けています。 排水トレイがきちんとセットされていません。 排水トレイのセンサーが汚れている。</p>	<p>① 排水トレイをセットしてください。 ② 排水トレイを抜き再度セットしてください。 ③ 排水トレイのセンサー(金属部)を清掃。 ※トレイの抜き差しの際、画面表示が変わるまで10秒程かかります。</p>
<p style="text-align: center;">FBカス箱を空にする 両方のカス箱を空にする</p>  <p style="text-align: center;">FB カス箱を空にする</p>	<p>コーヒーカス箱がいっぱいになりました。 ※カス箱が2個あるEF20Mは「両方のカス箱を空にする」と表示されます。 ※本エラーは抽出回数が規定数に到達すると表示しますのでカス箱に余裕がある場合もございます。</p>	<p>① コーヒーカス箱を抜いて溜まったカスを捨ててください。 ※カス箱が2個あるEF20Mは2個とも空にしてください。 ※カス廃棄しセットしても [カス箱がいっぱい] が消えない場合は、カス箱を抜き [カス箱が抜けてます] 表示に変わり10秒ほどしてセットしてみてください。</p>
<p style="text-align: center;">カス箱が抜けてます</p>  <p style="text-align: center;">カス箱が抜けてます</p>	<p>コーヒーカス箱が抜けてます コーヒーカス箱がきちんとセットされていません。</p>	<p>① コーヒーカス箱を抜き再度セットしてください。</p>
<p style="text-align: center;">給水タンク水補充アラーム</p> 	<p>(給水タンク式のみ) 給水タンクの水が減っています。 ※給水タンクの水が700ml程に減るとアラームが出ます。 給水タンクが抜けてます。 給水タンクがきちんとセットされていません。</p>	<p>① 給水タンクに水を補充してください。 ② 給水タンクをセットし直してください。</p>
<p style="text-align: center;">給水エラー</p> 	<p>(水道直結式のみ) 水の供給が遅い。 水がマシンに供給されていない。</p>	<p>① 水の元栓が閉まっていないか。 ② 給水ホースが折れていないか。 ③ 断水していないか。</p>

トラブルシューティング ①

症状	確認項目、対処
<p>・電源が入らない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① ブレーカーが落ちていないか確認してください。 ② コンセントからプラグが抜けていないか確認してください。 ③ 電源ケーブルがマシン後ろのソケットから抜けていないか確認してください。(P7、P8参照) ④ 前面ドアがしまっているか？ドアキーがかけているか。 ⑤ マシン後ろの主電源スイッチがOFFになっていませんか？(P7、P8参照)
<p>・マシン下より水漏れ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 排水トレイがきちんと挿入されているか確認してください。(P12参照) ② 抽出ユニットの茶色いチューブが抜けていませんか？ →抽出ユニットの茶色いチューブをセットする。 <div data-bbox="544 665 1310 1065" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="text-align: center;"> <p>フレッシュブリュー ユニット下のチューブ</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>エスプレッソ ユニット左上のチューブ</p> </div> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> ③ ミキサーが正しくセットされていない可能性があります。 → ミキサーを外して、再度セッティングし直してください。(P21参照) ④ ミキサーのチューブが抜けていませんか？ → 接続状態を確認してください。(P21参照)
<p>・コーヒーカス箱に液体が溜まる。 ・コーヒーカス箱のカスが水っぽい</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 抽出ユニットの茶色いチューブが抜けていないか？(外れていないか？) →茶色いチューブをセットする。(きちんと差し込む) ② マシンのクリーニングを行なう。(P14～P18参照)
<p>・コーヒーの味がうすくなった。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① コーヒー豆がホッパーに入っていますか？(P11参照) ② 豆ホッパー(豆の容器)の内部に豆が張り付いていませんか？ →ホッパー内を清掃してください。(P19参照) ③ 豆ホッパー内に異物(豆の袋等)が入っていませんか？ ④ コーヒーシューターに粉が溜まっています。 →シューターを清掃してください。 ⑤ マシンのクリーニングを行なう。(P14～P18参照)
<p>・コーヒーの出方が悪い。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① コーヒーの抽出ノズルの詰まり。 →ノズルの清掃。(P14、P16参照) ② 抽出ユニットの茶色いチューブが抜けていないか？(外れていないか？) →茶色いチューブをセットする。(きちんと差し込む) ③ マシンのクリーニングを行なう。(P14～P18参照)

トラブルシューティング ②

症状	確認項目、対処
<ul style="list-style-type: none"> ・ コーヒーの量が少ない 	<ol style="list-style-type: none"> ① コーヒーの抽出ノズルの詰まり。 →ノズルの清掃。(P14、P16参照) ② 抽出ユニットの茶色いチューブが抜けていないか？ (外れていないか？) →コーヒーチューブをセットする。(きちんと差し込む) ③ マシンのクリーニングを行なう。(P14~P18参照)
<ul style="list-style-type: none"> ・ パウダーメニューの抽出量が少ない。 ・ パウダーメニューの出方が悪い。 <p>※ F22 のみ</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① ミキサーが正しくセットされていますか？(P21参照) →ミキサーをもう一度セットし直してください。 ② ミキサーのチューブが抜けていませんか？(P21参照) →チューブ接続を確認してください。 ③ パウダー抽出ノズル詰まり。(P14、P16参照) →ノズルの清掃。
<ul style="list-style-type: none"> ・ パウダーメニューの味が薄い <p>※ F22 のみ</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① キャニスターにパウダーが入っていますか？(P11参照) ② キャニスターがマシンに正しくセッティングされていますか？ (本体にしっかり挿入されていない場合) (P22参照) ③ キャニスターのパウダー出口シャッターは開いていますか？ (P22参照) ④ キャニスターのパウダー出口にパウダーが固着していませんか？ (P22参照) ⑤ キャニスター内の部品が正しくセットされていますか？ →キャニスター内のパウダーを全て出し、お送りスプリングがスムーズに回転するか確認してください。(P22参照)
<ul style="list-style-type: none"> ・ パウダーの粉がミキサーに詰まる <p>※ F22 のみ</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① ミキサー内にパウダーの固着がある →ミキサー分解清掃をしてください (P20参照) ② ミキサー内に豆が入っている →ミキサー分解清掃をしてください (P20参照) ③ パウダー抽出ノズル詰まり。(P14、P16参照) →ノズルの清掃
<ul style="list-style-type: none"> ・ ミルクの量が少ない ・ ミルクの泡立ちが悪い。 ・ ミルクの出方が悪い。 <p>※ EF20M のみ</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① オールインワンクリーンまたは、ミルククリーンを行なってください (P16、P18参照) ② ミルカーの分解洗浄を行なってください。(P23参照) ③ ミルカーのOリングを交換してください。(P24参照) ④ ミルカー本体をきちんと組み直してください。(P25参照) ⑤ ミルクチューブは差し間違いのないか？(P25参照) ⑥ ミルクチューブが折れていないか、又はクーラーとマシンの間で、 チューブが挟まっていないか確認してください。 ⑦ ミルク保冷庫が冷えているか確認してください。

保証とアフターサービスについて

保証とアフターサービス

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取り下さい。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管して下さい。

2. 修理を依頼されるとき

取扱書の内容をお確かめ頂き、コーヒーマシンが直らない時は電源プラグを抜いてから当社に修理についてご相談下さい。

- 保証期間中の修理
保証書の規定により無料修理致します。当社コールセンターまでお申し出下さい。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。当社にご相談下さい。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せ下さい。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡下さい。

- | | |
|-------|----------------------|
| ●お名前 | ●商品名 カリマリ社製 Blue dot |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の症状、状況(出来るだけ詳しく) |



修理相談窓口 ブルーマチックジャパン株式会社

横浜: (045)947-0804

大阪: (06)6531-1333

受付時間 : 365日 24時間

※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行って下さい。
清掃作業は取扱説明書に従い、コーヒー抽出口や容器の洗浄をそれぞれ適切に行って下さい。
一日の営業開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄を行って下さい。
洗浄剤は小さなお子様の手に触れない場所に保管して下さい。
必ず冷たい新鮮な硬度の低い水道水をお使い下さい。
また、ミネラル成分の多い水を使うとマシン内部にスケール(水垢)が発生しマシンの性能を損なう恐れがあります。
使用中に、取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちに当社へご連絡下さい。

コーヒーマシン 保証書

型 名	カリマリ社製 Blue dot
製 品 番 号	
製 造 番 号	
保 証 期 間	お買い上げの日より1年間
お 買 い 上 げ 日	年 月 日
お 客 様 お 名 前	
ご 住 所	
電 話 番 号	

無料修理規定

本書は、本書記載内容で、無料修理をさせて頂く事をお約束するものです。

- 1 取扱説明書、本体添付のラベル等の注意に従った使用状況で保証期間内に万一故障をした場合には故障個所の無料修理を行います。
- 2 保証期間内に故障をして無料修理を受ける場合には販売店もしくは当社コールセンターに連絡して下さい。
- 3 次のような場合は、保証期間内でも有料修理になります。
 - (1) 使用上の誤り、取扱説明書に記載してある通りの使用をしなかった場合。
 - (2) 取扱説明書に記載されている日常のお手入れを怠った事が原因で発生した故障及び損傷。
 - (3) 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
 - (4) 販売店以外で修理、改造などを行ったことが原因で発生した故障及び損傷。
 - (5) 消耗品、付属品等の消耗による交換及び交換作業。
 - (6) 火災・水害・地震などの天災地変・塩害・公害・異常電圧・過電流など外部要因による故障及び損傷。
 - (7) 落下・転倒・水漏れ・打撲・本体内部の基盤が破損・変形したことなどによる故障及び損傷。
 - (8) 車両などに搭載して使用をしたり移動後に発生した故障及び損傷。
 - (9) 保証書の提示が無い場合及び保証書記載の製造番号と製品の製造番号が異なる場合。
 - (10) 保証書の記載内容が変更、書き換えられている場合。
- 4 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 5 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。

※この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。ご不明な場合には当社にお問い合わせ下さい。

※保証期間は、お買い上げの日より1年間を過ぎた場合は無効となります。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容を、修理・サービスに利用させていただく場合がございますのでご了承下さい。

※本製品の使用により、または故障により生じた直接・間接の損害については保証対象外とします。

輸入代理店

ブルーマチックジャパン株式会社

<MEMO>

〈MEMO〉



ブルーマチックジャパン株式会社
本社：神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22
大阪(営)：大阪府大阪市西区阿波座1-9-9
福岡(営)：福岡県福岡市博多区豊1-5-24 丸信ビル108

<http://www.brewmatic.co.jp/>



20220121